

芸術家等の京都への移住・居住推進のための情報発信ウェブサイト 「たどり着いたら京都」をグランドオープン！

京都市では、芸術家等が京都に集い、住み、活動しやすい魅力的な環境づくりのため、京都市内への移住・居住を希望する芸術家等からの相談対応、不動産事業者等との連携による芸術家等の居住・制作などに適した物件の掘り起こし・情報収集等に取り組んでいます。

この度、令和6年3月末にプレオープンしていた芸術家等の京都への移住・居住推進のための情報発信ウェブサイト「たどり着いたら京都」をグランドオープンします。ウェブサイトでは、京都への移住や、拠点を持つことを検討されている芸術家や文化芸術関係者の方々への情報発信として、京都に移住した文化芸術関係者にインタビューを行い、移住したきっかけや軌跡等を紹介します。



ウェブサイトのトップページイメージ

1 公開日時

令和6年7月31日（水）午前10時

2 URL

<https://tadoritsuitara.kyoto.jp/>

3 コンテンツ

○インタビュー記事

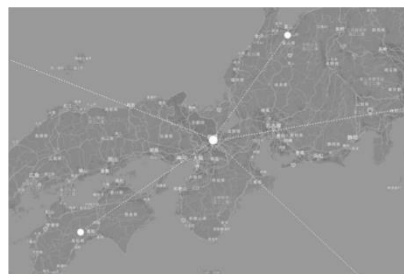
芸術家や文化芸術関係者が京都に移住したきっかけや理由を紹介します。

○キーワード一覧

芸術家や文化芸術関係者が京都に移住したきっかけとなる「キーワード」を紹介します。

○みんなの京都へのたどり着き方

芸術家や文化芸術関係者がどのような軌跡で京都にたどり着いたのか、マップで紹介します。



4 インタビューさせていただいた方々 ※順次追加

荒木悠（あらき・ゆう）／アーティスト・映画監督

移住先を探していた中、京都での仕事の機会が増えてきていたことやご縁もあり、京都に移住を決めた。

2007年ワシントン大学サム・フォックス視覚芸術学部美術学科彫刻専攻卒業。2010年東京藝術大学大学院映像研究科メディア映像専攻修士課程修了。主な展覧会と映画祭に、「荒木悠 LONELY PLANETS」（十和田市現代美術館、青森、2023-4）、「Memory Palace in Ruins」（C-LAB、台北、2023）、「恵比寿映像祭 2023 コミッション・プロジェクト」（東京写真美術館）等。

金澤韻（かなざわ・こだま）／現代美術キュレーター

7年滞在した上海から、コロナ禍の影響もあり、帰国を決意。その頃、関西で大きな案件を抱えていたこともあり、パートナーにも縁がある京都に移住。

東京芸術大学大学院美術研究科、および英国王立芸術大学院大学（ロイヤル・カレッジ・オブ・アート：RCA）現代美術キュレーティングコース修了。熊本市現代美術館など公立美術館での12年の勤務を経て、2013年に独立。2017年4月から2020年3月まで十和田市現代美術館の学芸統括としても活動。CIMAM メンバー。コダマシーン（金澤韻＋増井辰一郎）ファウンダー、アーティストティックディレクター。

倉田翠（くらた・みどり）／演出家・振付家・ダンサー

京都造形芸術大学（現・京都芸術大学）映像・舞台芸術学科への入学をきっかけに京都に移住。

京都造形芸術大学（現・京都芸術大学）映像・舞台芸術学科卒業。3歳よりクラシックバレエ、モダンバレエを始める。京都を拠点に、演出家・振付家・ダンサーとして活動。2016年より、倉田翠とテクニカルスタッフのみの団体、akakilike（アカキライク）の主宰を務め、アクターとスタッフが対等な立ち位置で作品に関わる事を目指し活動している。令和5年度京都市芸術新人賞。2024年4月より、まつもと市民芸術館 芸術監督（舞踊部門）。

5 芸術家等の京都への移住・居住に関する相談

京都芸術センター内に設置している「京都市文化芸術総合相談窓口（KACCO）」※に、移住・居住の相談に対応する専任相談員を配置し、芸術家等の京都への移住・居住に係る相談事業等を行っています。

<京都市文化芸術総合相談窓口 KACCO>

〒604-8156 京都市中京区山伏山町 546-2 京都芸術センター・情報コーナー内

開室時間：火～土 10:00～18:00（日・月・祝休）*京都芸術センターの臨時休館日は休業

TEL：075-252-2162

WEB：<https://www.kyotoartsupport.com/iju>

相談フォーム：https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf4MSW8EGRNjGzxxEEC2DS6-VhcvZgYkrcdzPXmI_waVUvX8g/viewform

※ 京都市文化芸術総合相談窓口（KACCO）について

芸術家をはじめとした文化芸術関係者の活動資金の確保や、契約・著作権等の専門知識など、文化芸術活動を行うために必要な支援策の情報発信と各種相談に対応する窓口です。